



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
その他必要がある場合、あらかじめ公告する一定の日

- 株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

- 同 連 絡 先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-782-031（フリーダイヤル）

- 公 告 の 方 法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三井住友信託銀行）にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 株主優待制度一部変更に関するお知らせ

#### 1. 変更の理由

当社は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式の投資魅力を高め、より多くの株主の皆様当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を実施しております。

この度、株主の皆様にとってより利便性の高い株主優待制度とするため、優待内容を一部変更いたしました。なお、株主優待の保有株式数基準についての変更はございません。



※QUOカードにつきましては、株主総会決議通知に同封させていただいておりますが、カタログギフトにつきましては、7月上旬にカタログを発送させていただきます。

#### 2. 変更の内容(下線部分は変更箇所を示しております。)

| 保有株式数基準              | 優待内容                  |                        |
|----------------------|-----------------------|------------------------|
|                      | 変更前                   | 変更後                    |
| 200株以上<br>1,000株未満   | 1,000円分の <u>図書カード</u> | 1,000円分の <u>QUOカード</u> |
| 1,000株以上<br>2,000株未満 | 3,000円相当のカタログギフト      | 3,000円相当のカタログギフト       |
| 2,000株以上             | 5,000円相当のカタログギフト      | 5,000円相当のカタログギフト       |

#### 3. 変更の時期

平成30年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様への送付分から実施いたします。

株式会社 帝国電機製作所

〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地  
TEL 0791-75-0411（代表）



株式会社 帝国電機製作所

〔証券コード：6333〕

# Business Report

株 主 の 皆 様 へ

## 第114期 年次報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで



株主の皆様へ

売上・営業利益共に過去最高を更新いたしました。

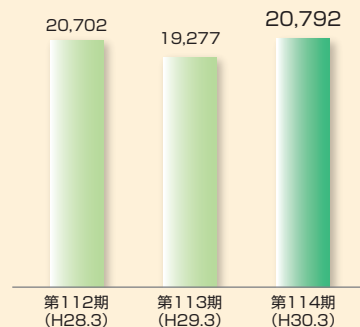


代表取締役  
社長執行役員

宮地 國雄

### ■ 売上高

(単位:百万円)



第114期の業績についての  
総括をお願いします。



第114期の業績は前期と比べると増収・増益という結果となりました。

主力のポンプ事業については、国内市場では、石油化学関連の設備更新需要が堅調であったこと、及び輸出案件の増加等から受注・売上ともに増加しました。アメリカ市場ではメカニカルシールポンプからの置換提案や、ロックダウン式の生産体制による冷凍機業界向けポンプのシェア拡大を図った結果、受注は堅調に推移しました。中国市場では、市況の回復による石油化学プロジェクトや鉄道等のインフラ関連の設備投資が活発化し、受注・売上ともに増加しました。

また、これらに加えて、採算が改善したことにより、利益が増加しました。



主力のポンプ事業についての概況及び  
今後の見通しを教えてください。



現在、主力のポンプ事業は連結売上高の90%近くを占めており、国内はもとより海外でも幅広く展開しております。平成29年4月に本社新工場が竣工したことで中大型ポンプの生産能力は約1.6倍となり、製造ラインは整流化されました。今後は国内外の需要動向を見据えながら、生産体制のさらなる効率化を図ってまいります。

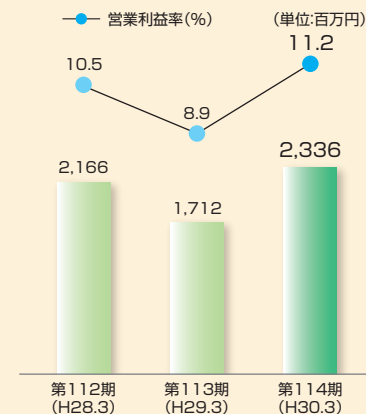
ポンプ事業における概況及び今後の見通しについては、地域別でご説明いたします。

### <日本>

主要顧客である化学業界は、この1～2年好調な業績を背景として、老朽化した設備の更新や事業構造の改革を進めており、それに伴う設備投資需要が継続しております。

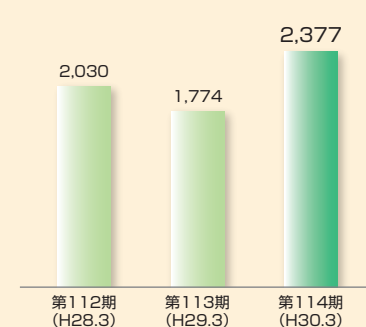
### ■ 営業利益／営業利益率

(単位:百万円)



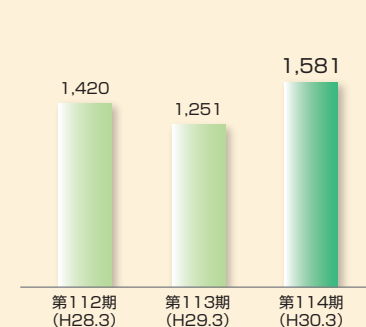
### ■ 経常利益

(単位:百万円)



### ■ 親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位:百万円)



(注)在外子会社の収益及び費用は、従来、それぞれの決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第113期より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。  
なお、第112期につきましても遡及適用した金額を記載しております。





整流化した製造ライン



ポンプの大型化にも対応

当社は、さらなる事業拡大を図っていくため、当期において営業と設計の連携を密にし、国内外の高難度化する顧客ニーズを的確に反映したスピーディなモノづくりができる環境を整えました。

具体的には、プロジェクト案件を取り扱う専門部署として技術開発本部内にプロジェクト部を新設し、受注から設計、そして調達の一部までを担い、技術力に加えて英文仕様書が読解できる語学力を有する人材を揃えました。このチームの誕生により、顧客とのコミュニケーションがより一層密になり、受注から設計までのワンストップ対応が可能となりました。

### <アメリカ>

米国市場においては、当社子会社であるTEIKOKU USA INC.がメカニカルシールポンプからキャンドモータポンプへの置換提案に注力しており、代理店営業に加えて直販体制による販売も推進しております。それによって足元の堅調な化学業界の設備更新需要の取り込みを行ってまいります。

また、原油価格の上昇に伴い、停滞していたシェール由来の大型エチレンプラントのプロジェクトが動き出しております。エチレンを原料とした川下分野のプラント建設については、2～3年後ぐらいから動き出す見通しにあり、今後当社ポンプの受注増を期待しております。

化学業界以外においては、冷凍機業界向けのポンプの受注が軌道に乗ってまいりました。同業界において、キャンドモータポンプの「完全無漏洩」という特長を高く評価していただいていることに加え、短納期化を実現するためにノックダウン方式（組立工程の現地化）



本社工場 太陽光パネル

の生産体制を整備したことから、シェア拡大が順調に進んでおります。

また、今後拡大が見込まれる化学業界向けポンプにおいても短納期化ニーズが高いことから、今後現地での生産体制の整備を図っていかねばならないと考えております。

### <中国>

この数年、中国市場は化学業界が低迷していたこともあり、苦戦を強いられましたが、前期の後半から化学業界で新規の設備投資案件が出てくるようになりました。足元の受注も好調であることから平成30年度内に設備投資を行い、早期に増産体制を整える計画です。

### <東南アジア>

日本を含め世界各国から化学関連の大手企業が進出



本社工場 照明のLED化

しており、東南アジア地域の経済発展に伴って新しいプラントの案件が増えてきました。また、マレーシアやインドネシアを中心とするパームオイルを原料としたオレオケミカル関連の設備更新等の案件が出てきております。これらの需要を確実に獲得していくため、現地での採用人員を増やし営業力の強化に努めているところです。

### <インド>

インドは、中国に匹敵するほどの市場規模が期待できます。すでに西海岸には化学関連のコンビナートが立ち並んでおり、化学関連市場の潜在的な需要は大きいと考えております。当期にHYDRODYNE(INDIA) PVT. LTD.社を子会社化し、来期以降は現地従業員に対する教育やキャンドモータポンプの販売体制を整え、いずれはアメリカや中国のような一大拠点にしたいと考えております。



## 株主の皆様へ



グローバル企業として社会への貢献を  
どのようにお考えですか。



当社グループは、真のグローバル企業を  
目指し、持続可能な社会の形成に寄与する  
ため、「環境・社会・企業統治」いわゆる  
ESG (Environment, Social, Governance)  
への取り組みを推進しています。

本社新工場の建設に際しては、環境対策として  
防音・断熱機能の高い建材の採用、照明のLED  
化や太陽光パネルの設置を行い、また従業員の  
労働衛生環境向上のために年間を通じて快適な  
作業環境が保てる最新空調設備の導入等を行いま  
した。

日常業務においても、環境負荷の少ない原材料  
の調達を徹底するとともに、資源ロスを最小限  
にする設計思想の浸透を図っております。

また、当社グループは、企業の社会的責任を果  
たすうえで、本業を通じての社会貢献が重要であ  
ると位置付け、その象徴的存在が「完全無漏洩」  
のティコクキャンدمータポンプだと考えていま  
す。ポンプ内を流れる液体の中には、環境に  
対して負荷を与えるものもあり、環境保全に取  
り組む企業にとって、「液体を漏らさないこと」  
は重要な取り組みの1つと言えます。したがって、  
環境負荷の大きい液体を絶対漏らさず移送する  
ティコクキャンدمータポンプを採用いただく  
ことが我々の使命であり、営業担当者をはじめ  
全従業員に対しては、そういった使命感を持っ  
て業務に励んでもらいたいと常々訴えています。



最後に、利益還元方針につきましては  
どのようにお考えですか。



当社は株主の皆様への利益還元を経営の  
最重要課題の1つと考えております。

配当につきましては、連結配当性向30%  
以上を目標とし、中間配当と期末配当の年2回行  
うことを基本方針としております。当期の配当金  
につきましては、中間配当として1株当たり8円  
を実施いたしました。期末配当は連結業績を踏  
まえ、1株当たり12円とさせていただき、年間の  
配当金は前期比5円増の20円となりました。

今後とも拡大する事業機会を迅速・確実に捉え  
るために必要となる株主資本の水準を保持しつ  
つ、基本方針に沿った配当を実施させていただく等、  
株主還元と成長のための投資のバランスを図って  
まいります。

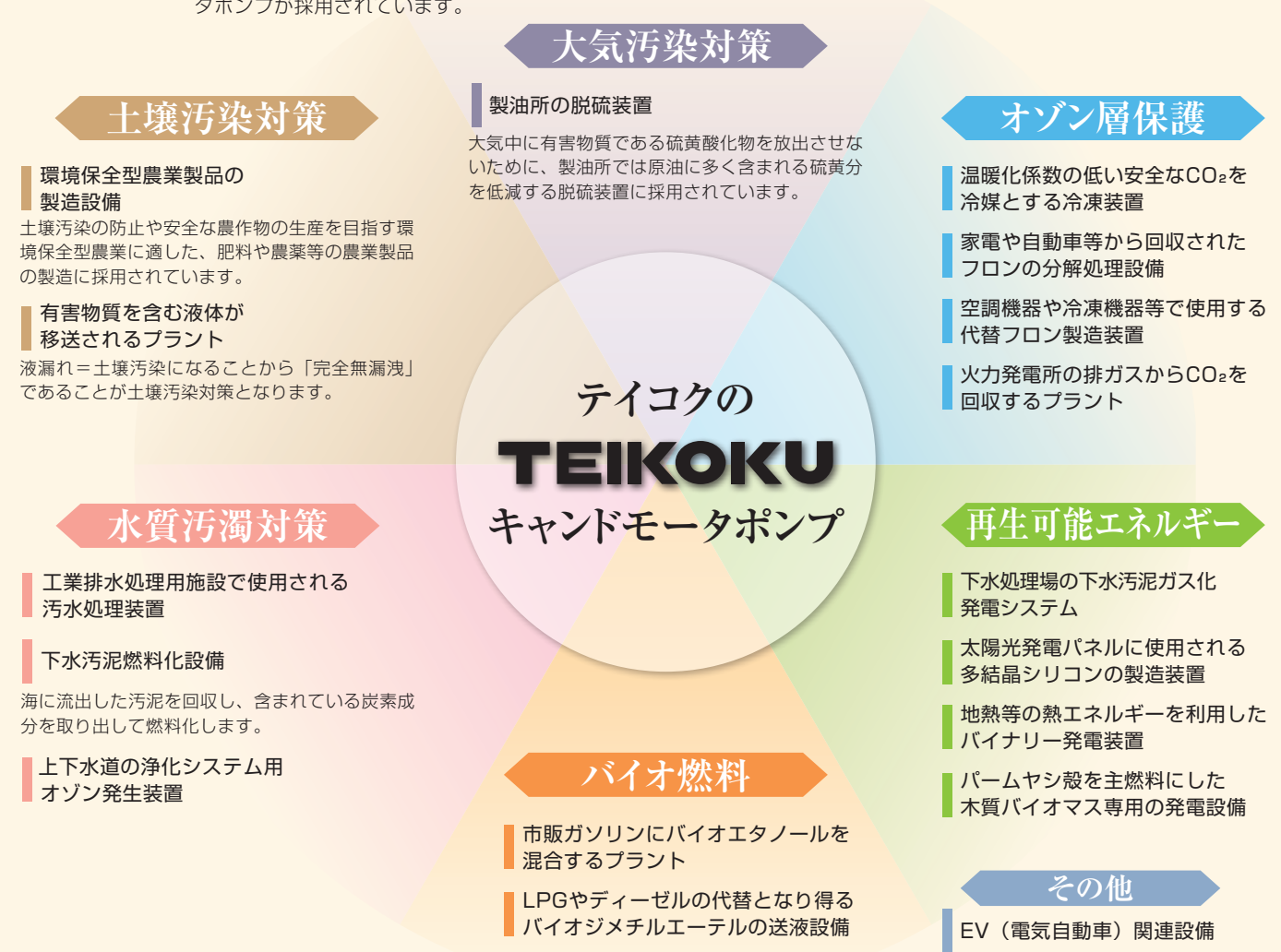
株主様におかれましては、さらなるご支援とご  
鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 特集

## ティコクのポンプは環境保全に貢献しています。

当社グループは、企業としての社会的責任について、本業を通じての社会貢献が大切だと考えています。昭和35年に開発したティコクキャンدمータポンプは、「完全無漏洩」という高品質・高精度が世界で評価され、ニーズに応じて進化しながら幅広い分野で活躍しています。現在、世界的な課題である環境保全に関しても、有害な液体を外部に一滴も漏らさない「完全無漏洩」それ自体が周辺環境の保護であり、さまざまな環境対策への取り組みにもティコクキャンدمータポンプが採用されています。





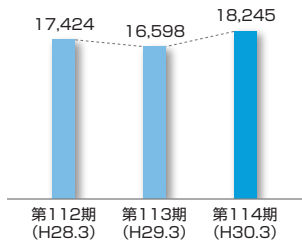
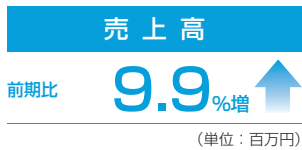


## セグメント別事業の概況

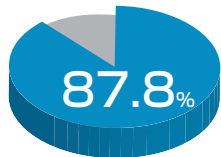
### ポンプ事業

ポンプ事業は、国内市場では、冷凍機・空調機器モータポンプ及び電力関連機器モータポンプが減少したものの、ケミカル機器モータポンプ、メンテナンス関連等が増加いたしました。中国市場においては、主にケミカル機器モータポンプ、機関車用モータポンプを中心に増加いたしました。一方米国市場では、前期の受注不振の影響等からケミカル機器モータポンプ等が減少しました。

その結果、売上高は182億45百万円（前期比9.9%増）、連結売上高に占める割合は87.8%となりました。また、営業利益は、人件費及びHYDRODYNE(INDIA) PVT. LTD.社ののれん償却等の費用が増加したものの、売上の増加並びに粗利率の改善等により20億58百万円（同35.6%増）となりました。

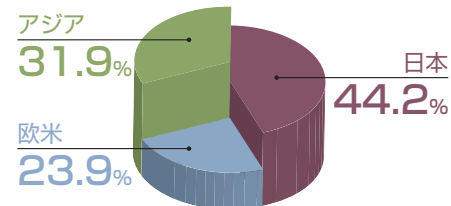


売上高構成比



### 所在地別セグメント

#### 所在地別売上高構成比



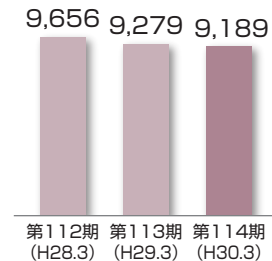
\*販売元を基準とした外部顧客に対する売上高

(注) 1.地域の区分は、地理的近接度を考慮して決定しております。

2.本邦以外の区分に属する国及び地域の内訳は、次のとおりであります。(1) 欧 米：米国、ドイツ (2) アジア：中国、台湾、シンガポール、韓国、インド

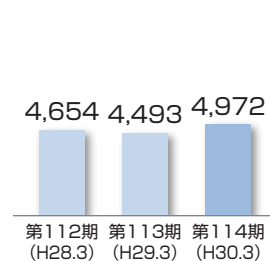
#### 日本 (単位：百万円)

■ 売上高



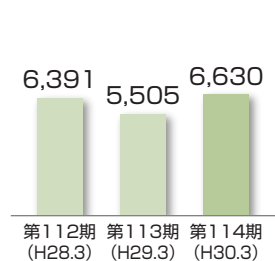
#### 欧米 (単位：百万円)

■ 売上高



#### アジア (単位：百万円)

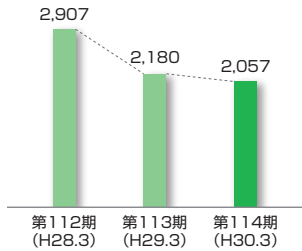
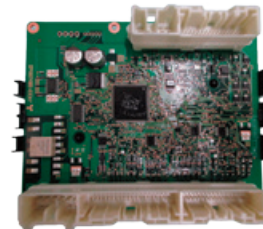
■ 売上高



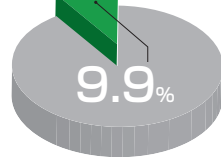
### 電子部品事業

電子部品事業は、売上高は20億57百万円(前期比5.6%減)、連結売上高に占める割合は9.9%となりました。

しかし、粗利率の改善等により、営業利益は1億93百万円(同43.3%増)となりました。



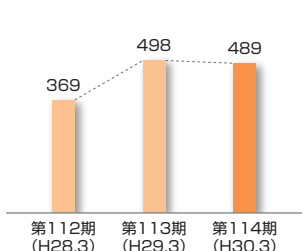
売上高構成比



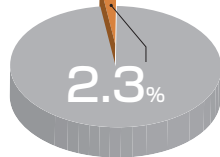
### その他

その他は、売上高は4億89百万円（前期比1.9%減）、連結売上高に占める割合は2.3%となりました。

また、営業利益は、粗利率の改善等により、84百万円（同42.4%増）となりました。



売上高構成比



#### Topics

### 女子サッカーチーム「ASハリマアルビオン」をサポートしています。

当社は平成30年3月、女子サッカーチーム「ASハリマアルビオン」を運営するASハリマアルビオン株式会社とスポンサー契約を締結しました。

「ASハリマアルビオン(Athletic Sports HARIMA ALBION)」は、兵庫県姫路市を本拠地として2012年に発足、今年で6年目を迎えるトップチームです。現在、なでしこリーグ（2部）で活躍しており、様々な地域イベントにも積極的に参加する等、地域密着型の活動を進めています。

当社は、スポンサー活動を通じて同チームを応援しながら、地域交流の深化やスポーツ振興等、地域社会に貢献してまいります。

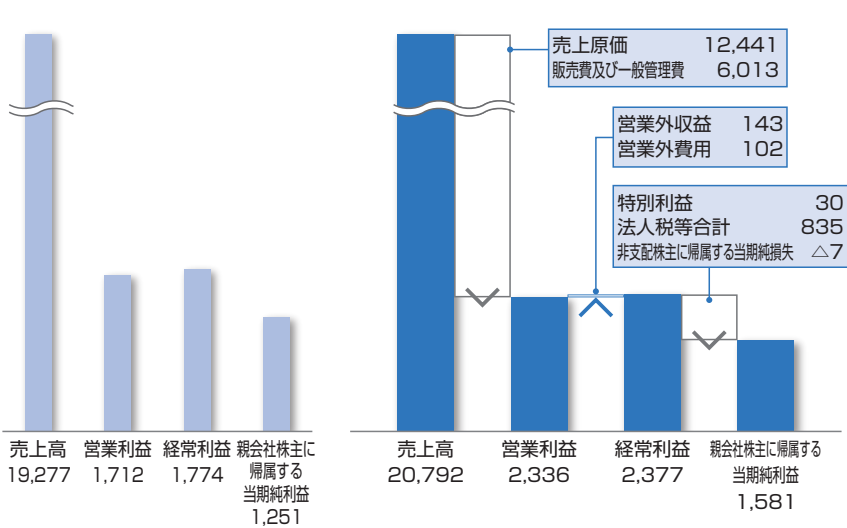
ホームページアドレス <http://h-albion.jp/>



連結財務諸表

連結損益計算書

| 前 期                    |  | 当 期                    |  |
|------------------------|--|------------------------|--|
| (平成28年4月1日～平成29年3月31日) |  | (平成29年4月1日～平成30年3月31日) |  |

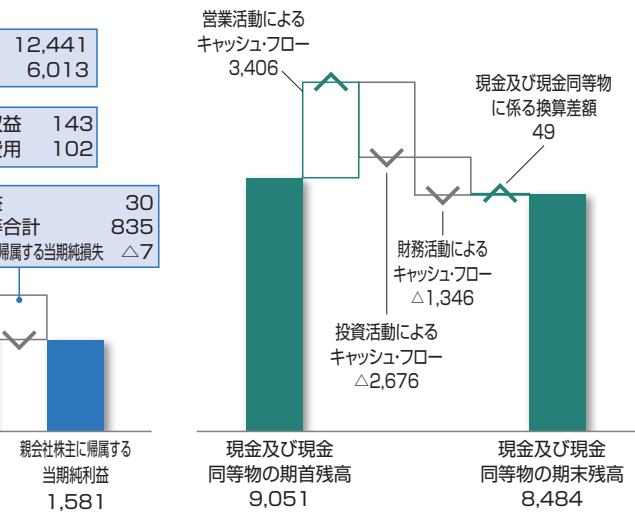


連結貸借対照表

| 科 目      | 前期末<br>(平成29年3月31日現在) | 当期末<br>(平成30年3月31日現在) |
|----------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部     |                       |                       |
| 流動資産     | 21,464                | 21,143                |
| 固定資産     | 11,572                | 12,165                |
| 有形固定資産   | 9,142                 | 8,873                 |
| 無形固定資産   | 436                   | 1,018                 |
| 投資その他の資産 | 1,994                 | 2,273                 |
| 資産合計     | 33,037                | 33,308                |

連結キャッシュ・フロー計算書

| 当 期                    |  |
|------------------------|--|
| (平成29年4月1日～平成30年3月31日) |  |



| 科 目         | 前期末<br>(平成29年3月31日現在) | 当期末<br>(平成30年3月31日現在) |
|-------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部        |                       |                       |
| 流動負債        | 6,514                 | 5,826                 |
| 固定負債        | 1,736                 | 1,967                 |
| 負債合計        | 8,250                 | 7,793                 |
| 純資産の部       |                       |                       |
| 株主資本        | 23,598                | 24,055                |
| その他の包括利益累計額 | 1,188                 | 1,378                 |
| 非支配株主持分     | －                     | 80                    |
| 純資産合計       | 24,786                | 25,515                |
| 負債純資産合計     | 33,037                | 33,308                |

会社情報／株式情報

会社概要

|         |                                                        |
|---------|--------------------------------------------------------|
| 社 名     | 株式会社帝国電機製作所<br>TEIKOKU ELECTRIC MFG. CO., LTD.         |
| 設 立     | 昭和14年9月12日                                             |
| 資 本 金   | 31億1,811万8,450円                                        |
| 従 業 員 数 | 連結 1,277名 単体 310名                                      |
| 本 社     | 〒679-4395<br>兵庫県たつの市新宮町平野60番地<br>Tel. 0791-75-0411（代表） |
| ホームページ  | http://www.teikokudenki.co.jp/                         |

役員

|                 |         |                    |         |
|-----------------|---------|--------------------|---------|
| 代表取締役<br>社長執行役員 | 宮 地 國 雄 | 取 締 役<br>(常勤監査等委員) | 頃 安 義 弘 |
| 取 締 役<br>専務執行役員 | 中 村 嘉 治 | 社外取締役<br>(監査等委員)   | 林 晃 史   |
| 取 締 役<br>常務執行役員 | 白 石 邦 記 | 社外取締役<br>(監査等委員)   | 川 島 一 郎 |
| 取 締 役<br>執行役員   | 舟 橋 正 晴 | 上席執行役員             | 大 川 貴 広 |
| 取 締 役<br>執行役員   | 山 本 憲 豪 | 執行役員               | 加 減 孝 司 |
|                 |         | 執行役員               | 清 水 学 敏 |
|                 |         | 執行役員               | 村 田 潔   |

グループ会社

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国 内 子 会 社 | ・ 株式会社協和電機製作所<br>・ 上月電装株式会社<br>・ 株式会社帝伸製作所<br>・ 株式会社平福電機製作所                                                                                                                                                                                                       |
| 海 外 子 会 社 | ・ TEIKOKU USA INC.<br>・ 大連帝国キャンدمータポンプ有限公司<br>* 台湾帝国ポンプ有限公司<br>* 無錫大帝キャンدمータポンプ修理有限公司<br>* 済南大帝キャンدمータポンプ修理有限公司<br>* 成都大帝キャンدمータポンプ修理有限公司<br>・ TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD.<br>・ TEIKOKU ELECTRIC GmbH<br>・ TEIKOKU KOREA CO.,LTD.<br>・ HYDRODYNE (INDIA) PVT.LTD. |

(注) \*は大連帝国キャンدمータポンプ有限公司の子会社であります。

株式の状況

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 69,200,000株 |
| 発行済株式の総数 | 20,400,138株 |
| 株 主 数    | 3,476名      |

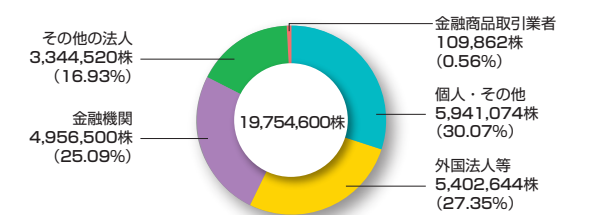
大株主

| 株主名                         | 持株数        | 持株比率   |
|-----------------------------|------------|--------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社        | 2,407,700株 | 12.19% |
| 三菱電機株式会社                    | 2,286,400株 | 11.57% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社          | 937,700株   | 4.75%  |
| KBL EPB S.A. 107704         | 633,501株   | 3.21%  |
| 刈田耕太郎                       | 522,644株   | 2.65%  |
| 徳永耕造                        | 515,400株   | 2.61%  |
| GOLDMAN,SACHS& CO.REG       | 417,000株   | 2.11%  |
| 株式会社三井住友銀行                  | 410,000株   | 2.08%  |
| 帝国電機取引先持株会                  | 390,200株   | 1.98%  |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL | 357,699株   | 1.81%  |

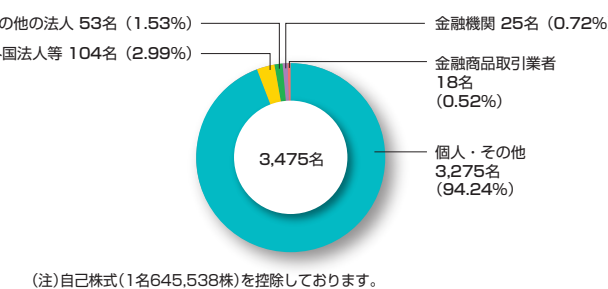
(注) 1.当社は自己株式を645,538株所有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
2.持株比率は自己株式を控除して算出しております。  
3.日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数には、(信託口)、(信託口1)、(信託口2)、(信託口4)、(信託口5)、(信託口6)、(信託口9)の所有株式数を含めて表示しております。

株式分布状況

所有者別株式分布状況



所有者別株主分布状況



(注)自己株式(1名645,538株)を控除しております。